



**アートスパークホールディングス株式会社**

**2014年12月期 第1四半期**

**決算説明補足資料**

# 目次

- ❁ **2014年12月期 第1四半期 業績ハイライト**
  - 連結損益計算書
  - 連結貸借対照表
  - セグメント別損益の状況
  
- ❁ **2014年12月期 第1四半期 事業セグメント別の概況**
  - コンテンツソリューション事業
  - クリエイターサポート事業
  - UI/UX事業
  - アプリケーション事業
  
- ❁ **2014年12月期の業績見通し**
  - 今期の見通し〈通期業績予想〉
  
- ❁ **2014年12月期 主要施策**

# 2014年12月期 第1四半期 業績ハイライト

# 連結損益計算書（2014年12月期第1四半期累計期間）

（期間：2014年1月1日～3月31日）

単位：百万円

	13年12月期 1Q実績	14年12月期 1Q実績	増減額	増減率
売上高	1,152	812	△339	△29.5%
営業損益	235	△66	△301	—
経常損益	231	△74	△305	—
当期純損益	203	△64	△267	—

\*平成26年2月28日付で株式会社エイチアイ関西を子会社化いたしましたが、当第1四半期連結累計期間においては貸借対照表のみを連結し、損益計算書の連結はいたしていません。

## 売上高

- ・売上高は、UI/UX事業におけるロイヤリティ収入が前年比較で大きく減少。
- ・人件費、減価償却費等の固定費の削減及び変動費である外注費の削減により総費用は前年比較で減少。
- ・前年比較では減収減益だが、計画通りの進捗。

## 特別損益

- ・エイチアイ関西株式取得に伴う「負ののれん」償却益13百万円を計上。

# 連結貸借対照表（2014年12月期第1四半期累計期間）

単位：百万円

	13/12末	14/3末	増減
流動資産	2,130	1,927	△203
現預金	1,323	1,121	△201
売掛金	552	555	3
たな卸資産	148	129	△18
その他	106	120	13
固定資産	1,511	1,555	43
有形固定資産	55	58	2
無形固定資産	1,003	1,047	44
投資その他の資産	453	449	△3
繰延資産	7	7	0
資産合計	3,650	3,490	△160

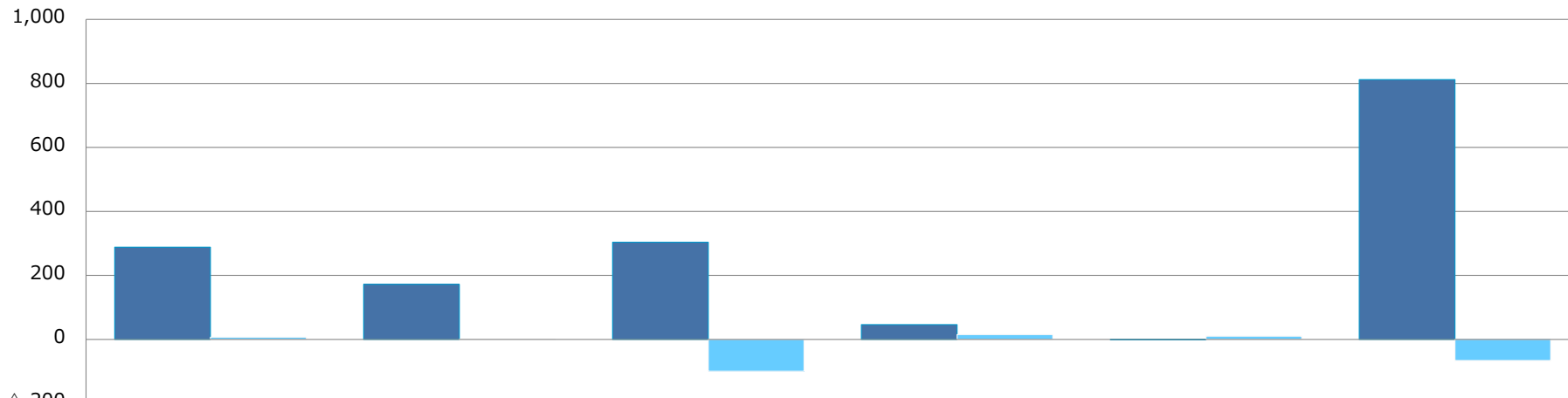
	13/12末	14/3末	増減
流動負債	1,021	948	△72
短期借入金	596	580	△16
その他	424	368	△55
固定負債	343	304	△39
長期借入金	267	228	△39
その他	75	75	0
負債合計	1,364	1,252	△111
株主資本	2,252	2,193	△58
その他	33	44	10
純資産合計	2,286	2,237	△48
負債純資産合計	3,650	3,490	△160

注：短期借入金には1年以内返済予定長期借入金を含んでおります。

\*平成26年2月28日付で株式会社エイチアイ関西を子会社化いたしました。当第1四半期連結累計期間においては貸借対照表のみを連結し、損益計算書の連結はいたしていません。

# セグメント別損益の状況

詳細は事業セグメント別の概況をご参照下さい。

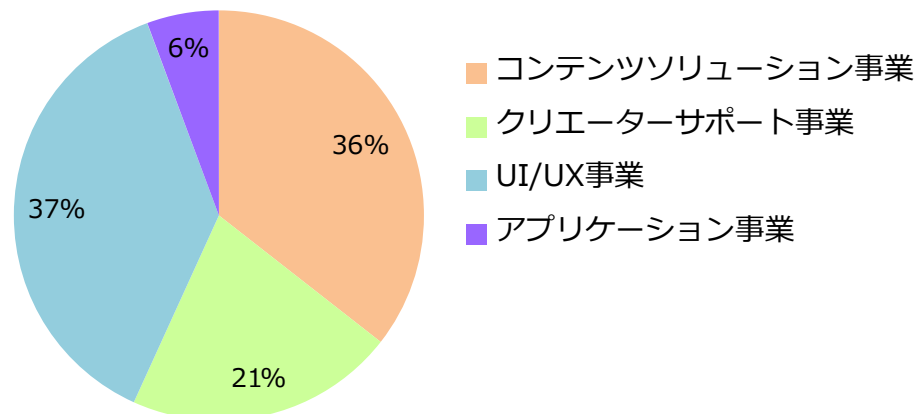


△ 200

単位：百万円

	コンテンツソリューション事業	クリエイターサポート事業	UI/UX事業	アプリケーション事業	調整額	合計
■ 売上高	288	172	304	46	△ 1	812
■ 営業利益	7	1	△ 99	15	10	△ 66

売上高構成比（連結調整額除く）



# 事業セグメント別の概況

# コンテンツソリューション事業-第1四半期

電子書籍分野（旧電子書籍サポート事業） & グラフィック分野：売上高種別

単位：千円	13/12期 1Q会計 (前期1月～3月)	14/12期 1Q会計 (当期1月～3月)	対前期比
電子書籍分野	305,013	254,181	83.3%
グラフィック分野	26,669	34,547	129.5%
売上高合計	331,682	288,728	87.0%
営業利益	25,030	7,366	29.4%
減価償却費	60,552	57,425	94.8%

## ■業績の概要

スマートフォン向け売上高がフィーチャーフォン向け売上高を上回る

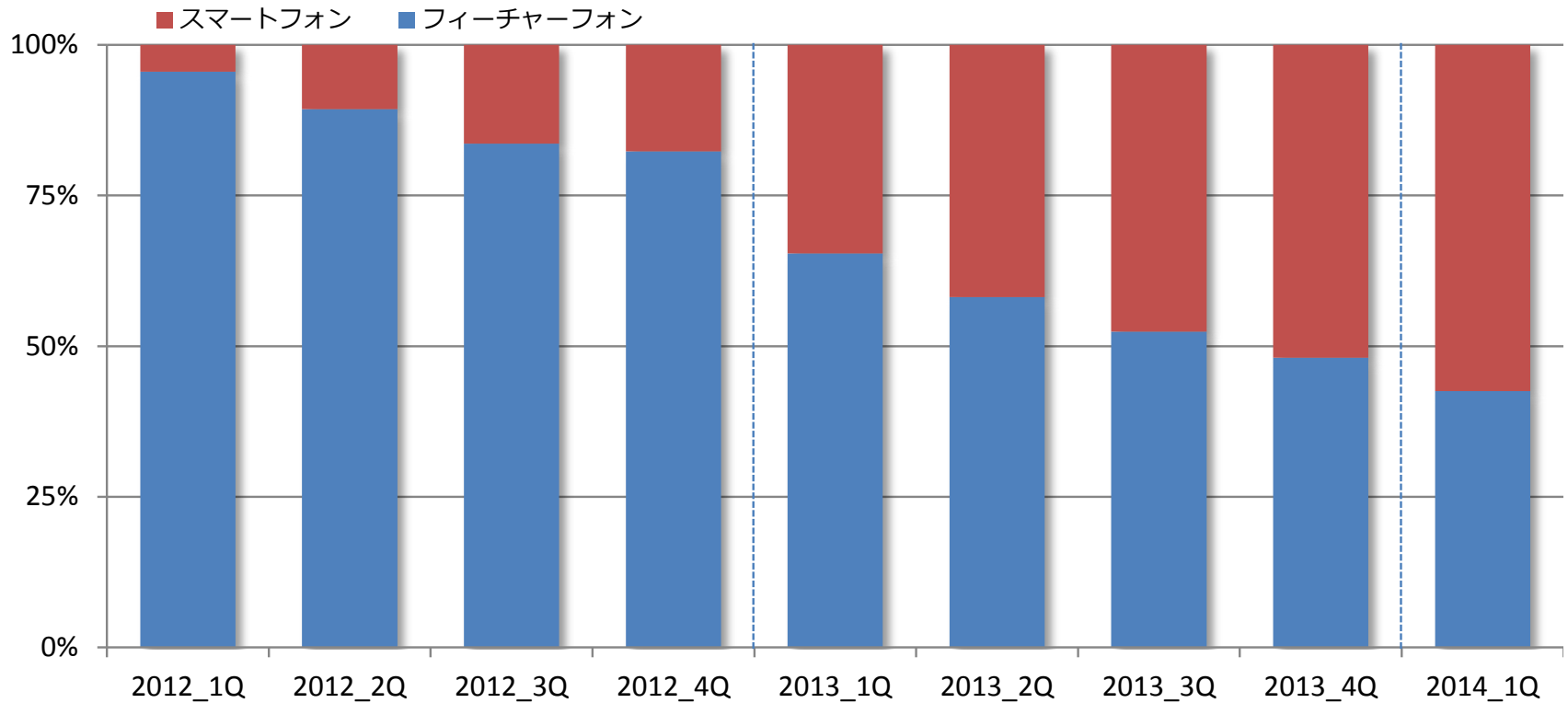
## ■トピック

- ・富士通「ARROWS Tab WQ2/M」と「FMV LIFEBOOK WT1/P」に「CLIP STUDIO PAINT PRO ダウンロード版」を200台限定でプレゼント！（2014.3）
- ・BS Reader for Browser採用サービスが700に（2014.4）
- ・BS Reader for Browser新機能追加（2014.4）



# コンテンツソリューション事業-第1四半期

スマホ移行の本格化が売上高にも反映



2013年9月

スマートフォン向け売上高がフィーチャーフォン向け売上高を上回る

# クリエイターサポート事業-第1四半期

単位：千円	13/12期 1Q会計 (前期1月～3月)	14/12期 1Q会計 (当期1月～3月)	対前期比
売上高	145,709	172,967	118.7%
営業利益	△33,645	449	-
減価償却費	52,482	58,171	110.8%

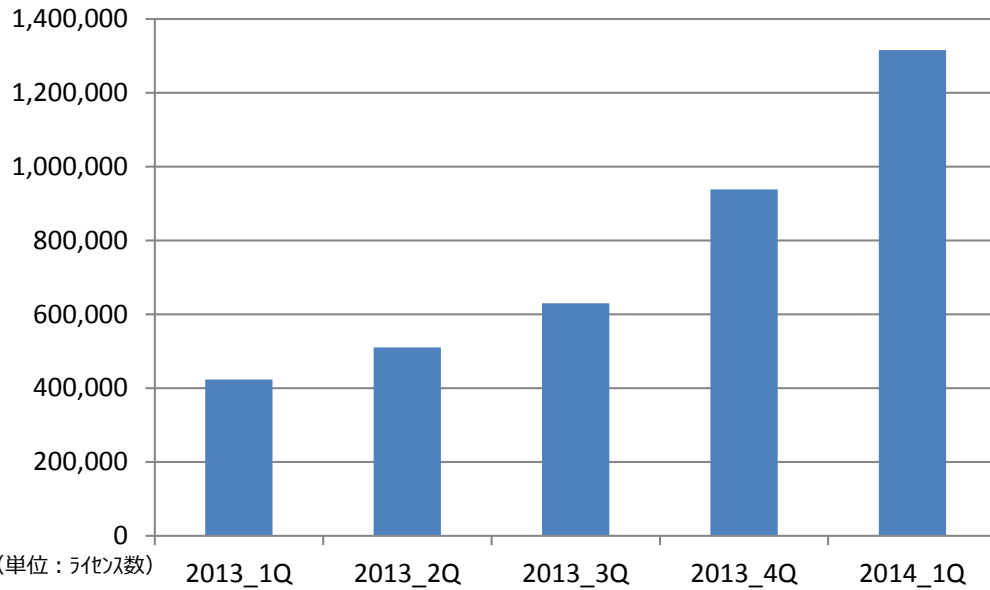
## ■業績の概要

増税前の需要増とキャンペーンの効果により、3月売上大。  
黒字転換。

## ■トピック

- ・マンガ・イラスト制作ソフト「CLIP STUDIO PAINT」40万本突破 (2014.3)
- ・複数人での共同作業をサポートする新機能を追加した「CLIP STUDIO PAINT」の無償アップデートを公開 (2014.2)
- ・マンガ制作機能を強化した「CLIP STUDIO PAINT」英語版・中国語版の最新バージョンを2月20日に公開 (2014.1)

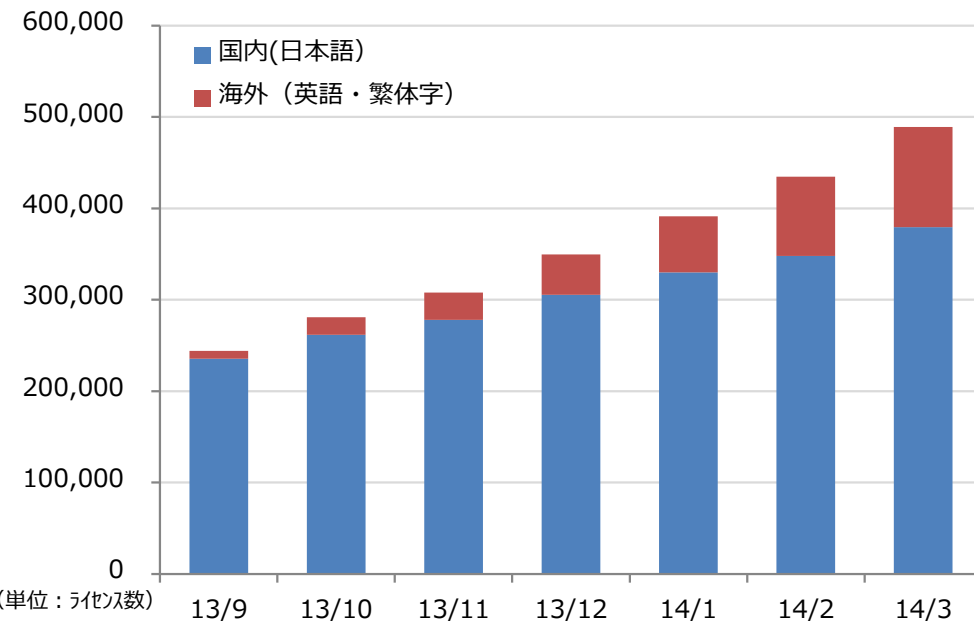
# クリエイターサポート事業-第1四半期



## ＊「CLIP STUDIO PAINT」 累計出荷状況

2013年度において、積極的なオンラインマーケティング活動や、SONY, pixiv, wacomといった多数の顧客を持つパートナーとのアライアンスを強化。

⇒14年度も積極的に若年層を中心に認知度向上と販売数を増加させる施策に注力。



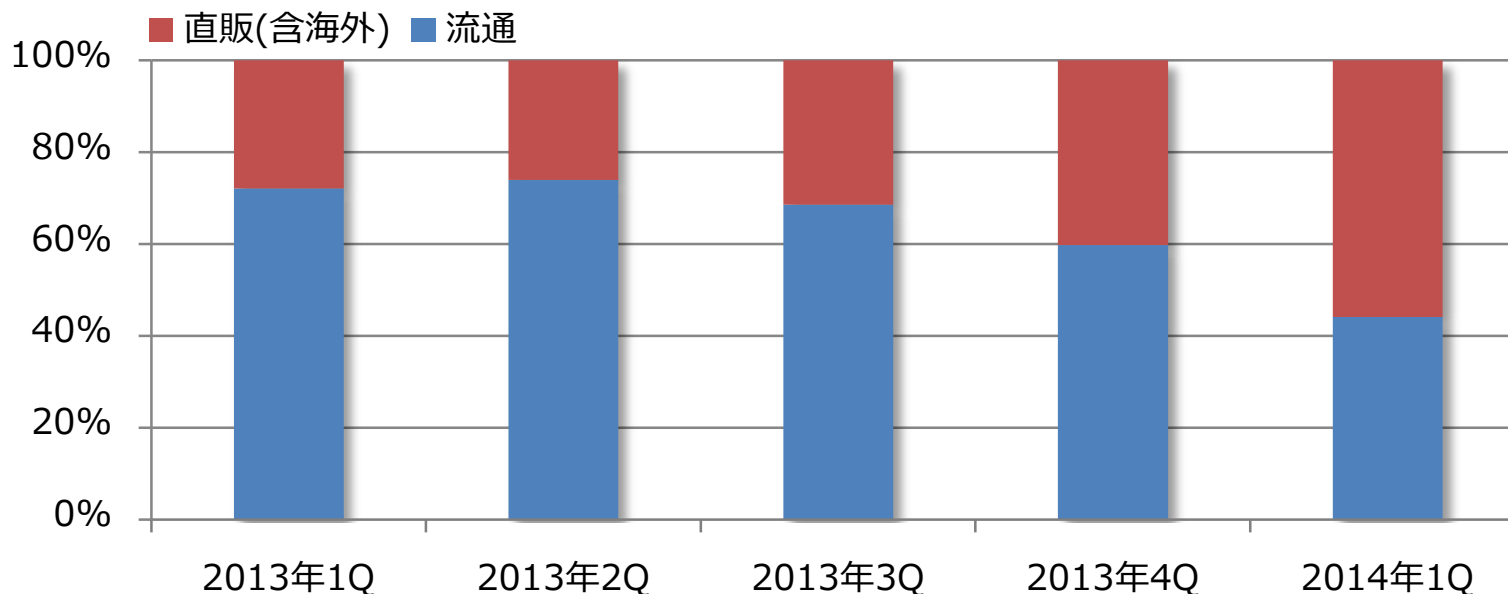
## ＊「CLIP STUDIO PAINT」 言語別累計出荷状況

「CLIP STUDIO」の海外展開は2013年9月より開始。

⇒14年度は、認知度向上目的のマーケティング活動に注力

# クリエイターサポート事業-第1四半期

流通・直販売上比率(海外ロイヤリティ・グラフィック分野含まず)



- ＊ 2013年度、「CLIP STUDIO」に対して、継続的なアップデート・新機能追加により商品力を強化  
 ⇒ 「タブレットPC完全対応」 「3Dコンテンツ制作機能の提供開始」
- ＊ 2013年度売上の流通：直販 = 『7：3』  
 2014年度は直販の割合 50%を目標とする。

# UI/UX事業（ユーアイ/ユーエックス事業）-第1四半期

売上高：内訳種別

単位：千円	13/12期 1Q会計 (前期1月～3月)	14/12期 1Q会計 (当期1月～3月)	対前期比
受託開発収入	231,130	197,247	85.3%
ライセンス収入	366,675	107,191	29.2%
売上高合計	597,805	304,438	50.9%
営業利益	226,748	△99,921	-
減価償却費	15,975	15,911	99.5%

## ■業績の概要

- ・前期はモバイル向けロイヤリティ収入を中心に年間売上高の4割が1Qに集中。外注費は減少傾向。

## ■トピックス

- ・エプソンのプリンターやスキャナー製品を対象に「UIコンダクター」「ハイグリフ」のライセンス契約を締結（2014.1）
- ・TrueTypeフォント描画ソリューション「ハイグリフ」がカシオ計算機の電子辞書“EX-word（エクスワード）”シリーズに採用（2014.1）
- ・ゼットエムピー社とコネクティッド・カーによる安心安全な運転を体感できるデモを展示  
— オートモーティブ ワールド 2014で共同展示 —（2014.1）
- ・QNXと2014CESでデジタルクラスタのサポートを展示（2014.1）

# アプリケーション事業-第1四半期

単位：千円	13/12期 1Q会計 (前期1月～3月)	14/12期 1Q会計 (当期1月～3月)	対前期比
売上高	78,522	46,637	59.3%
営業利益	4,490	15,565	346.6%
減価償却費	1,552	375	24.1%

## ■業績の概況

事業規模縮小。

新規案件は行わず、継続中の一部サービスにおける運用業務等の手数料収入を収益計上。

# 2014年12月期の業績見通し

# 今期の見通し〈2014年12月期通期業績予想〉

(百万円未満切捨て)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
第2四半期 (累計)	1,527	△265	△275	△278	円 銭 △41.9
通期	3,775	63	36	26	3.9

## ・今期見通しに関して

平成26年2月28日公表の「株式会社エイチアイ関西の孫会社化」については上記見通しに織り込み済です。

平成26年4月11日公表の「株式会社U'eyes Designの孫会社化」については、業績見通しへの影響を精査中であり、その影響額が確定次第公表いたします。



## 2014年12月期 主要施策

1. **グループ共通コアエンジン開発着手、製品開発効率と品質の向上**
2. **「CLIP STUDIO」の技術ノウハウを生かした、法人向けグラフィックス関連分野の強化**
3. **「CLIP STUDIO」シリーズの販売強化、国内市場の直販率拡大および海外マーケット立ち上げ**
4. **UI/UX事業における、市場拡大戦略**

# 1. グループ会社共通コアエンジン開発着手、開発効率の向上

グループ共通ツールコア、プレーヤコアの開発始動



各事業セグメントに合わせたツールを作成

Win/Mac



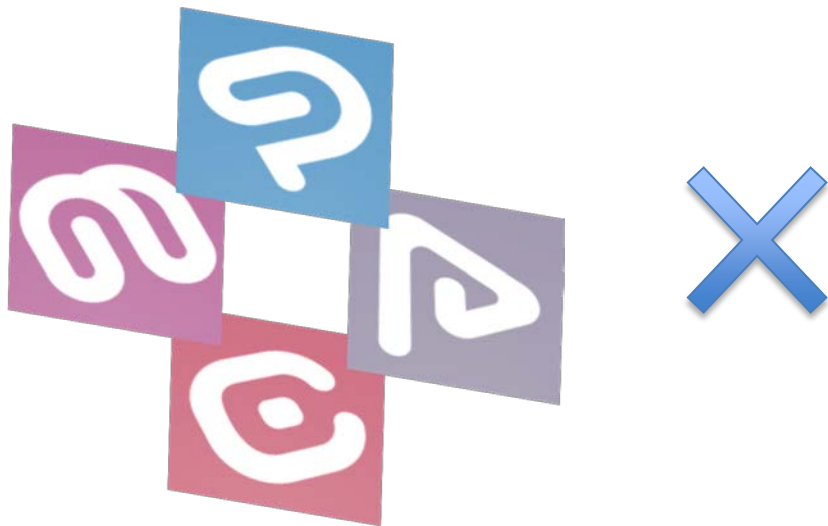
グループ共通エンジン



各デバイスに応じたアプリケーションを作成

## 2. 「CLIP STUDIO」の技術ノウハウを生かした、法人向けグラフィックス関連分野の強化

### 「CLIP STUDIO」プラットフォーム



### 他社

### プラットフォーム

コンテンツ制作・流通・再生にまつわる、幅広く多様性に富んだソフトウェアやサービス、ノウハウや仕組みを提供

他社のプラットフォーム・サービスと連携する企画の提案

### 各社タブレット端末、 PCへのバンドル

他社のプロダクト・サービスへの提供

✦ 上記活動による、マーケットの基盤固め。  
2015年以降の飛躍を見込んで取り組んでまいります。

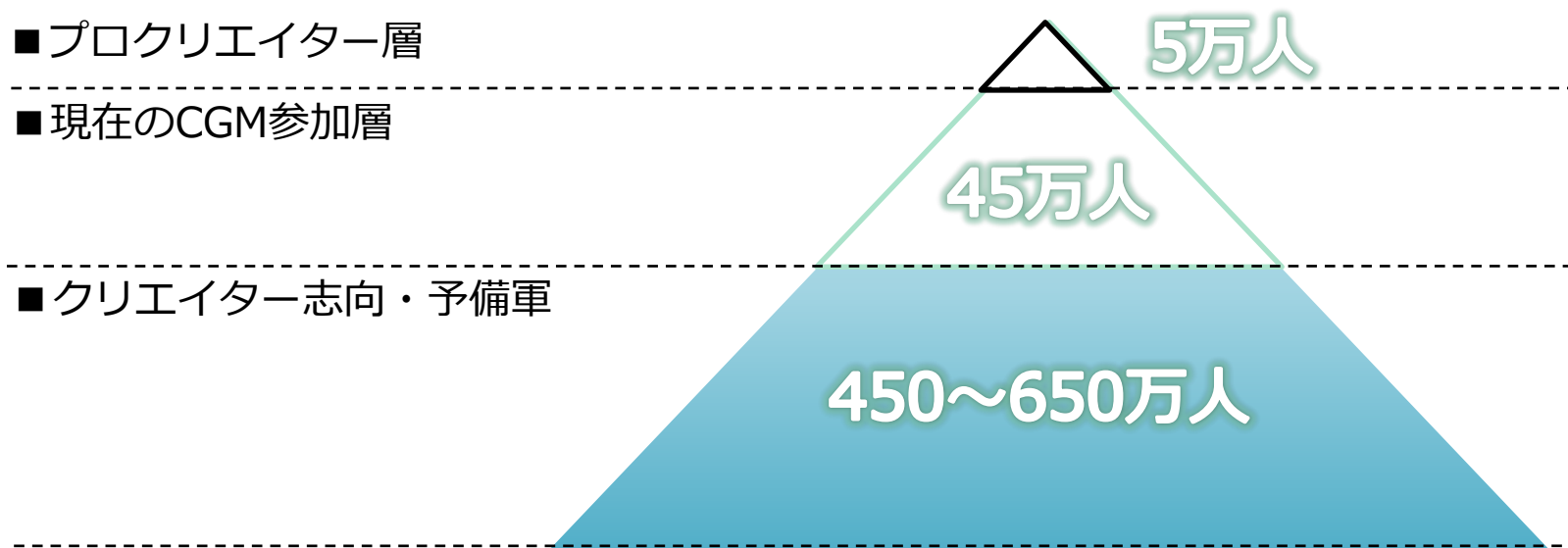
### 3. 「CLIP STUDIO」シリーズの販売強化 国内市場の直販率拡大および海外マーケット立ち上げ

#### ✦ 「CLIP STUDIO PAINT」の潜在顧客数

■ プロクリエイター層

■ 現在のCGM参加層

■ クリエイター志向・予備軍



日本の15~35歳人口3200万人のうち、少しでもクリエイター志向のある人は500~700万人とも言われ、そのうち、クリエイター志向はあるが、現在まだ特に創作活動をしていない層(クリエイター予備軍)は、450~650万人と想定される。

(出所：KDDI総研)

### 3. 「CLIP STUDIO」シリーズの販売強化 国内市場の直販率拡大および海外マーケット立ち上げ

CLIP STUDIO PAINT

Functions How to Gallery Supports Downloads **Free Trial** **Buy Now**

## Standard Paint Tool for Manga

Supported OS:  
Windows XP / Vista / 7 / 8  
Mac OS X 10.6 / 10.7 / 10.8 / 10.9

**Free Trial**

**Buy Now**

Tweet Like 105K

✳ 直販WEBサイト運営・改修  
(国内、海外)

✳ 2013年9月より  
「CLIP STUDIO」グローバル展開

✳ 多言語対応の実現化に向けてマーケティング活動に注力

**350,000 users**  
for 1.5 years

A piece of software, which has acquired 350,000 users in Japan for 1.5 years after the release, with outstanding drawing performance for manga.

**1,600,000 copies**  
all over the world

Evolve with all the functions of ComicStudio, 1.6 million copies of which have been sold around the world.



inking and coloring my works!"

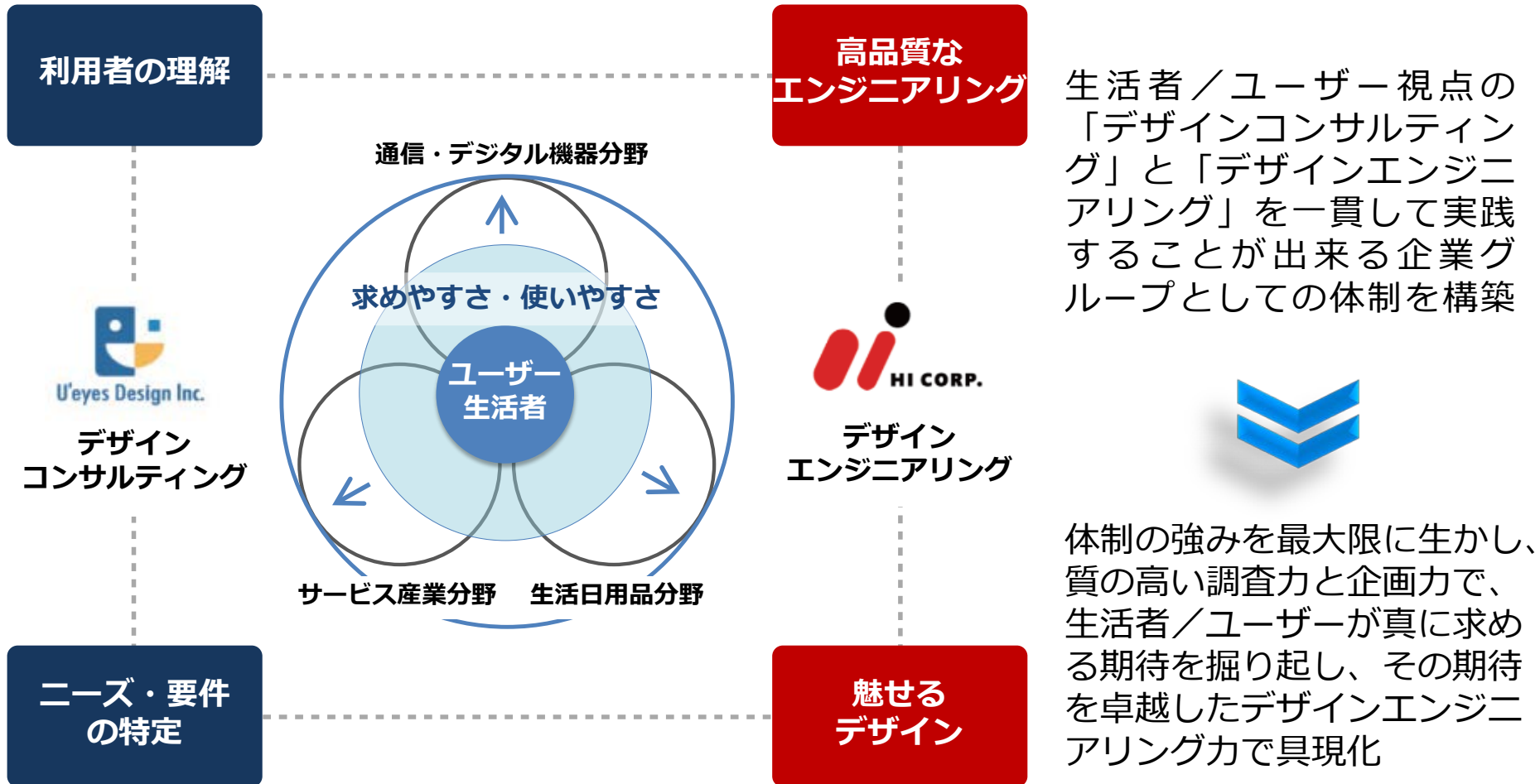


"I've stopped using all my other software"  
- Linus Remahl (Sweden)

※セルシス直販サイト (英語) <http://www.clipstudio.net/en>

## 4. UI/UX事業における、市場拡大戦略

1. HIK（エイチアイ関西）の株式取得（2014.2.28付） - 関西圏の営業強化
2. Ueye's Design社の株式取得（2014.4.15付） - 両社ノウハウの相乗効果による事業範囲、産業セグメントの拡大



**【IR窓口】 広報・IR課**

Tel : 03-3710-2985

Email : ir@artspark.co.jp

本資料は、当社の事業内容、経営戦略、業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。また、本資料は決算データ・会社データについては2012年6月30日現在のデータに基づいて作成されております。本資料に記載された意見/予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、また、今後、予告なしに変更されることがあります。本資料中に登場する会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。